

アニメ番組を作ってみよう（3）

「T2V プレイヤー」というソフトを使って、アニメーションの番組風動画を作ってみましょう。基本的な動作であれば、プログラム言語を使わずに、ふつうの文章で作ることができます。

今回は、前回までの応用に加えて、画像や音楽を使ってみます。演出が、グッとひきたちますよ。

前回印刷した、「タグやコマンドの一覧」を用意しておきましょう。

1. 台本の読み合わせ

「自転車泥棒」という古い映画の解説を、番組風に紹介する台本を作ってみました。演出選択は「初期設定（ハナとナオ）」を想定していますが、2人組であればほかに変更しても OK です。

まずは、T2V プレイヤーで再生してみましょう。



①「台本.txt」を開き、全文をコピーします。

②T2V プレイヤーを起動し、エディタ部分で右クリック→「貼り付け」。

③再生して、内容や流れを確認します。

④確認したら、「自転車泥棒」という名前で保存してください。

いかがですか？

誤りなくキチンと読み上げるのですから、これだけでもいいのですが……

さらに、カメラワークや動作の演出を加えていきましょう。

2. カメラワーク

ツーショットのままではなく、アップショットなどのカメラワークを、ご自分で演出してみてください。修正結果を、再生して確認してみましょう。

修正例を、下に掲載しておきます（「台本修正 1.txt」ファイル）。

（Bのアップショット）

B:こんにちは。

B:このコーナーでは、毎回、記憶に残る映画の名作を、ご紹介しています。

B:今日は、1948年、イタリアの作品、「自転車泥棒」をご紹介します。

（ツーショット）

B:ではハナさん、

B:映画の紹介をお願いします。

A:はい。

（Aのアップショット）

A:みなさん、こんにちは。

A:今日ご紹介する「自転車泥棒」は、

A:第二次大戦後、敗戦後のイタリアを舞台にした映画です。

【省略】

A:こんな感じで、話が進んでいきます。

（ツーショット）

B:ハナさん、

B:聞いているだけで、なんだか落ち込んで来てしまいますねえ。

A:そうですね。

A:いまの日本でも、仕事がないということが、社会問題になっています。

A:そのせいか、とても身につまされてしまいます。

A:とっても古い映画ですが、そういう意味では、現代的な映画だとも言えるのではないのでしょうか。

（Bのアップショット）

B:なるほど。

B:貧しさに追い詰められた親子が、どうなってしまうのか。

B:ひとごととは言えない気がしますね。

B:その後、お父さんは自転車を見つけられるのでしょうか。

（Aのアップショット）

A:犯人らしき人間を、執拗に追いかけて回していくんですが、

A:それは、ご覧になってのお楽しみ、ということ。

（Bのアップショット）

B:僕はどちらかというと、ハッピーエンドが好きなんですが、

B:なんだか、暗い気分になってしまいそうで、怖いです。

（ツーショット）

A:はい、決して、ハッピーエンドの作品とは言えません。

A:真っ暗な気分になってしまうかも。

（Aのアップショット）

A:でも、見終わって、真っ暗な心のなかに、ほんのかすかなあかりが見えるかもしれません。

A:その、かすかなあかりを見てほしい。

A:そんなふうに思っています。

（ツーショット）

B:そうですね。

B:古臭いといわずに、ぜひ、若い人にも見ていただきたい作品ですね。

B:どうも、ありがとうございました。

（Bのアップショット）

B:いかがですか？

B:あなたの心に、名作がいざなう声が届いたでしょうか？

B:それでは、今日はこのへんで。

B:さよなら、さよなら、さよなら。

3. 動作や表情、間

タイトル「名作へのいざない」と、スーパー『自転車泥棒』を最初に入れます。

さらに、自然な感じになるように、動作や表情のコマンドを入れてみましょう。

また、話がノペ〜っと平板ですね。ところどころに、(0.5 秒待つ) コマンドを入れるなど、間を作ってみましょう。

修正例を、下に掲載しておきます（「台本修正 2.txt」ファイル）。

タイトル：名作へのいざない

A: (喜、同時)

B: (喜、同時)

A: (おじぎ、同時)

B: (おじぎ)

スーパー：『自転車泥棒』

(4 秒待つ)

(スーパーオフ)

(B のアップショット)

B: (おじぎ、同時)

B: こんにちは。

(0.5 秒待つ)

B: このコーナーでは、毎回、記憶に残る映画の名作を、ご紹介しています。

B: 今日は、1948 年、イタリアの作品、「自転車泥棒」をご紹介します。

(ツーショット)

B: (A を見る)

B: ではハナさん、

A: (B を見る)

B: 映画の紹介をお願いします。

A: (うん、同時)

A: はい。

A: (カメラ視線)

(A のアップショット)

A: (おじぎ、同時)

A: みなさん、こんにちは。

(0.5 秒待つ)

A: 今日ご紹介する「自転車泥棒」は、

A: 第二次大戦後、敗戦後のイタリアを舞台にした映画です。

(1 秒待つ)

A: (平静)

A: お父さんのアントニオを演じるランベルト・マジョラーニと、

A: 息子ブルーノ役のエンツォ・スタヨーラのふたりは、

A: じつはオーディションで選ばれた素人さんなんです。

(0.5 秒待つ)

A: また、撮影もセットではなくロケで進められ、

A: ドキュメンタリーのようなイメージを与えます。

A: 戦後の貧困に苦しむイタリア社会を表現する、

A: 「ネオレアリズモの名作」と言われています。

(0.5 秒待つ)

A: お父さんのアントニオは、2 年間も失業中です。

A: 職業安定所、今でいうところのハローワークで、

A: ようやく仕事を紹介してもらえます。

(0.5 秒待つ)

A: この仕事には、自転車の持ち込みが条件で、

A: アントニオは質屋さんに預けていた自転車を、

A: やつとの思いで取り戻します。

(1 秒待つ)

A: やつと手に入れた仕事。

(0.5 秒待つ)

A: ハッピーな気分、息子のブルーノを後ろにのせて、仕事に出かけます。

A: ところがなんと、初日にいきなり自転車を盗まれてしまう。

(0.5 秒待つ)

A: 警察は相手にしてくれないし、自転車を買うお金もない。

A: しかたなく、アントニオとブルーノは、自力で自転車を探し始めます。

(1 秒待つ)

A: こんな感じで、話が進んでいきます。

(1 秒待つ)

B: (平静)

(ツーショット)

B: ハナさん、

B: (哀)

A: (B を見る)

B: 聞いているだけで、なんだか落ち込んで来てしまいますねえ。

B: (平静)

(0.5 秒待つ)

A: (哀)

A: (うん、同時)

A: そうですね。

Else082

A:いまの日本でも、仕事がないということが、社会問題になっています。

A:そのせいか、とても身につまされてしまいます。

(0.5 秒待つ)

A: (平静)

A:とっても古い映画ですが、そういう意味では、現代的な映画だとも言えるのではないのでしょうか。

(0.5 秒待つ)

(Bのアップショット)

B: (うん、同時)

B:なるほど。

B:貧しさに追い詰められた親子が、どうなってしまうのか。

B:ひとごととは言えない気がしますね。

(1 秒待つ)

B: (哀)

B:その後、お父さんは自転車を見つけられるのでしょうか。

(0.5 秒待つ)

(Aのアップショット)

A:犯人らしき人間を、執拗に追いかけて回していくんですが、

A: (カメラ目線)

(0.5 秒待つ)

A: (喜)

A:それは、ご覧になってのお楽しみ、ということ。

(0.5 秒待つ)

(Bのアップショット)

B: (喜)

B:僕はどちらかというと、ハッピーエンドが好きなんです。

B: (哀)

(0.5 秒待つ)

B:なんだか、暗い気分になってしまいそうで、怖いです。

(0.5 秒待つ)

(ツーショット)

A: (哀)

A: (Bを見る)

A:はい、けっして、ハッピーエンドの作品とは言えません。

A:真っ暗な気分になってしまうかも。

(0.5 秒待つ)

A: (平静)

A: (カメラ目線)

(Aのアップショット)

A:でも、見終わって、真っ暗な心のなかに、ほんのかすかなあかりが見えるかもしれません。

A:その、かすかなあかりを見てほしい。

(0.5 秒待つ)

A: (喜)

A: (Bを見る)

A:そんなふうに思っています。

(0.5 秒待つ)

B: (平静)

(ツーショット)

B:そうですか。

B:古臭いといわずに、ぜひ、若い人にも見ていただきたい作品ですね。

A: (うん)

(1 秒待つ)

B: (喜)

B:どうも、ありがとうございました。

B: (おじぎ)

A: (おじぎ)

(1 秒待つ)

(Bのアップショット)

B: (平静)

B: (カメラ目線)

B:いかがですか？

B:あなたの心に、名作がいざなう声が届いたでしょうか？

(1 秒待つ)

B: (喜)

B:それでは、今日はこのへんで。

(0.5 秒待つ)

B: (バイバイ、同時)

B:さよなら、さよなら、さよなら。

(2 秒待つ)

A: (カメラ目線)

(ロングショット)

A: (Bを見る)

B: (Aを見る)

B: (喜)

A: (喜)

B: (おじぎ)

A: (おじぎ)

B: (口を開ける)

B: (口を閉じる)

A: (うん)

B: (口を開ける)

B: (口を閉じる)

4. ハナの映画の説明が長くて、飽きてしまいます。そこで、その話の間に、素材として用意した画像（01.jpg～05.jpg）を表示させてみましょう。

また、オープニングとエンディングに、音楽（music.mp3）を入れてみてください。

挿入例を、下に掲載しておきます（「台本修正 3.txt」ファイル）。

※画像や音楽ファイルは、かならず「自転車泥棒」作品ファイルと同じフォルダに置いてください。

BGM: music.mp3

サブイメージ : 01.jpg

タイトル : 名作へのいざない

【省略】

スーパー : 『自転車泥棒』

(8 秒待つ)

(スーパーオフ)

音楽が終わる時間を考えて、
時間調整

【省略】

A: お父さんのアントニオを演じるランベルト・マジョラーニと、

A: 息子ブルーノ役のエンツォ・スタヨーラのふたりは、

A: じつはオーディションで選ばれた素人さんなんです。

(0.5 秒待つ)

メインイメージ : 02.jpg

A: また、撮影もセットではなくロケで進められ、

A: ドキュメンタリーのようなイメージを与えます。

A: 戦後の貧困に苦しむイタリア社会を表現する、

A: 「ネオレアリズモの名作」と言われています。

(0.5 秒待つ)

メインイメージ : 03.jpg

A: お父さんのアントニオは、2年間も失業中です。

A: 職業安定所、今でいうところのハローワークで、

A: ようやく仕事を紹介してもらえます。

(0.5 秒待つ)

A: この仕事には、自転車の持ち込みが条件で、

A: アントニオは質屋さんに預けていた自転車を、

A: やっとの思いで取り戻します。

(1 秒待つ)

メインイメージ : 04.jpg

A: やっと手に入れた仕事。

(0.5 秒待つ)

A: ハッピーな気分、息子のブルーノを後ろにのせて、仕事に出かけます。

A: ところがなんと、初日にいきなり自転車を盗まれてしまう。

(0.5 秒待つ)

A: 警察は相手にしてくれないし、自転車を買うお金もない。

A: しかたなく、アントニオとブルーノは、自力で自転車を探し始めます。

(スタジオ戻し)

(1 秒待つ)

A: こんな感じで、話が進んでいきます。

(1 秒待つ)

B: (平静)

サブイメージ : 05.jpg

(ツーショット)

【省略】

(0.5 秒待つ)

(絵を隠す)

(B のアップショット)

B: (うん、同時)

B: なるほど。

【省略】

B: (バイバイ、同時)

B: さよなら、さよなら、さよなら。

(2 秒待つ)

BGM: music.mp3

A: (カメラ目線)

(ロングショット)

A: (B を見る)

B: (A を見る)

B: (喜)

A: (喜)

B: (おじぎ)

A: (おじぎ)

B: (口を開ける)

B: (口を閉じる)

A: (うん)

B: (口を開ける)

B: (口を閉じる)

(8 秒待つ)

音楽が終わる時間を考えて、
時間調整